

園長室だより(臨時号)

令和2年度 第6号 (10月23日発行) 大阪市立立葉幼稚園長 岡林 朗子

運動会では、様々なご対応いただきありがとうございました。参観者の人数制限や、また競技の内容の制限の中、子どもたちは、日頃の姿やまたそれ以上の姿を存分に見せてくれたと思います。参観者の方々のマナーもそれぞれ守っていただき、お一人お一人が楽しんでいただけたことが、アンケートで伺えました。本当にありがとうございました。

初めて経験した3歳児の子どもたちは、運動会という大きな舞台を経験し、少し緊張していた様子もありましたが、とてもかわいい姿を見せてくれました。

4歳児の子どもたちは、日頃の元気な様子をそのまま見せてくれたようにも感じました。

そして、5歳児にとっては、最後の運動会でした。本当に頼もしくなった姿を見せてくれました。入園当初の姿とは違い、表情もたくましくなって、大きな成長に練習の頃から涙が出ていました。あんなに幼かった子どもたちがこんなに大きくたくましくなって、キリッとした表情で挑んでいた姿に感動しました。

子どもたち全員が大きな行事を経験し、自信につながったと思います。子どもたちに大きな拍手をいただき、ありがとうございました。

＜前日の準備＞

台風14号で雨が降りしきる中、白石さんと前地先生は、園庭の水をできるだけ側溝へ流し、土を平らにして整地してくれました。日曜日の朝、しっかり運動会に取り組めるように、立葉幼稚園の『縁の下の力持ち』です。

担任たちが用具の準備や子どもたちの荷物の整理などをしている間、こうして担任外の職員も、しっかり準備をしています。全員で立葉の子どもたちを想っています。(見えにくい動きですので、お知らせしたくて・・・)



＜園外保育—芋ほり—＞



＜園外保育芋ほり＞

コロナ感染防止を考え、電車での園外保育を辞める幼稚園も多い中、職員で検討を重ね、行くことの意義を考え、空いている時間の電車を選ぶなどの対策を講じた上で思い切って実施しました。でも実施してよかったです！

昨年までゆり組に手をつないでもらっていたばら組の頼もしさや、芋を掘っている子どもたちの笑顔、重い芋を入れても元気に歩くもも組。もも組をしっかりリードするゆり組の成長。園外でしか味わえない経験ができ、楽しい一日でした。欠席の子どもたちのお芋は、職員で掘って持って帰ってますので、ご心配なく！

電車の中でのルールなども含め、園外保育はやはり大きな意義があります。ご心配の中、送り出していただき、ありがとうございました。



避難訓練＜—消防自動車の来園！—＞

消防自動車が来てくれました。コロナの影響で乗ったり、触ったりができませんでしたが、子どもたちは大喜びでした。早速、ブロックで消防車を作ったり、絵を描いたり…。この自由に表現する力が幼稚園で育みたい資質なのです。



行事を経験して終わりではなく、運動会ごっこが続いたり、絵画で表現したりすることが大切です。将来、“学習”に向かいますが、経験をリンクさせること、学んだことをつなげて考えられる思考を育てることが重要と考えています。学びの基礎です。